



▲放送作家・脚本家の小山薫堂さんがパーソナリティを務める TOKYO FM 制作「ジャバモン」で、「BEAMS EYE on BEPPU」を紹介。民放各局で放送されました。



地方創生「稼ぐまち別府」へ
BEPPU
 ×
BEAMS



別府市は国の地方創生加速化交付金事業の一環として、株式会社ビームスと協業し、新宿のビームスジャパンで、「BEAMS EYE on BEPPU」を開催しました。

☎ 秘書広報課 電話 (21) 1123

別府市の総合戦略とビームスの感性が出会う

別府の「稼ぐ力」の強化に向けた新たな「ものづくり」の試みとして、別府市と、日本を代表するセレクトショップでありカルチャー発信源である株式会社ビームス、そして、本市を拠点に活動する BEPPU PROJECT とのコラボレーション事業の第1弾として、新宿のビームスジャパンにおいて、11月の1か月間にわたって「BEAMS EYE on BEPPU」を開催しました。

別府市は、「地域を磨き、別府の誇りを創生すること」を地方創生の柱に掲げ、産業連携と協働の仕組みや、別府観光のマネジメント組織の構築によって、地域の資源をいかした新たな別府の価値づくりを目指しています。



ルコラボ手ぬぐいを配布。また、期間限定で「別府八湯温泉道」の加盟温泉として、スパポートにオリジナルスタンプを押印。期間中、1日200人以上が入浴し、新宿で別府の湯を体験しました。

さらに、別府の地場産業に着目してビームスがセレクトした別府竹細工、つげ細工などの工芸品のほか、石鹸・シヤンプー・湯の花などを店内で販売しました。今回の試みで、ビームスジャパンを訪れる首都圏のお客様に本物の別府の魅力を直

株式会社ビームスは、「日本の感性・センスを持ったものを選び、磨き、光をあてる」ことを通じた「日本をブランドイングする」試みの発信源として、本年4月に「ビームスジャパン」を新宿にオープンさせました。そしてこの度、別府市の総合戦略とビームスの感性・センスが合致したことにより、この事業が実現しました。

「ビームスの足湯」を体験

「BEAMS EYE on BEPPU」では、11月の毎週末、新宿のビームスジャパンに別府から直送した、加水・再加熱なしの源泉100%掛け流し「ビームスの足湯」を設置。入場者には、ビームスジャパンと別府観光のロゴマーク極楽地獄別府のオリジナル

に体験してもらうことができました。また、フェイスブックやツイッターなどのSNS(※)で、ファッション・カルチャー系のメディアや足湯体験者の投稿が発信され、別府の魅力が新たな層に伝えることができました。

協業で新たな価値を

別府市は、今回の試みを始まりとして、ビームスとの協業を進展させ、ビームスが持つ企業文化を別府の地方創生にいかしていくことで、「稼ぐまち別府」の創出を目指します。



株式会社ビームス 代表取締役社長
 設楽 洋 さん

これまで、世界中の良いモノ・コトを日本に提案し続けてきた BEAMS が、創業 40 周年を機に今度は“日本”を切り口に、ファッション、プロダクト、カルチャー、飲食までをご紹介します「BEAMS JAPAN」をスタートしました。今回の「BEAMS EYE on BEPPU」展も、これまで培った経験や独自の価値観を別府に向け、物作りの確かさ、別府市ならではのセンスやウィットなどに光を当てることで日本に、世界に“BEPPU”の魅力発信していこうと思っております。

※ SNS…ソーシャル・ネットワーキング・サービスの略。社会的ネットワークをインターネット上で構築するサービス。